

高円宮妃殿下 西塩子の子ども歌舞伎をご鑑賞

「第12回地域伝統芸能全国フェスティバルいばらき」などにご臨席のため来県されていた高円宮妃殿下が、10月23日、市文化センターを訪れ、西塩子の子ども歌舞伎等をご鑑賞なされました。



高円宮妃殿下は到着後、回り舞台の模型等をご覧になった際には、展示された資料にお顔を近づけになるなど、たいへんご熱心な様子で、また、塩田小学校の3、4年生による「子宝三番叟」「白浪五人男」の演技には、子どもたちの様子に目を細められ、手にしたカメラのシャッターを切られました。終了後には、子どもたちにお声をかけられました。



塩田小学校児童の演技をご覧になる高円宮妃殿下



＜西塩子の回り舞台とは？＞

舞台道具の製作時期から、現存する日本最古の組み立て式回り舞台と言われていています。昭和20年を最後に上演が途絶えていましたが、大宮町の調査で貴重な文化財と判明、同地区の全世帯約70戸が加入して「西塩子回り舞台保存会」を結成し、平成9年、半世紀ぶりに舞台の組み立てを実現しました。平成10年の復活記念公演を機に、原則3年ごとに組み立てを行っています。

さらに地元では地芝居の一座「西若座」を結成、また塩田小学校でも、総合的な学習として歌舞伎等に取り組んでおり、この地域ぐるみの活動は伝統技術の継承や習得にもつながるものとして評価され、様々な賞を受賞しています。

【今月の表紙】

11月3日、大宮地域恒例の「ふれあい広場」が、工業団地内の西部総合公園グラウンドで開催されました。16回目を迎えるこのイベントは、今回は常陸大宮市誕生記念として、パワーアップ！市民総参加の祭とするため、“常陸大宮”郷土芸能の競演として、上岩瀬祭りばやし(大宮)、御城太鼓(山方)、鷲子祭囃子(美和)、緒川和太鼓(緒川)、野田和太鼓(御前山)が出演するなど、地域色いっぱいのイベントとなりました。



第16回ふれあい広場開幕です

広報常陸大宮は
ホームページでもご覧になれます。 <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp>



発行日 平成16年11月15日
編集・発行 常陸大宮市情報政策課
〒319-2215 茨城県常陸大宮市中富町3135-6
TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010
e-mail : email@city.hitachiomiya.lg.jp

広報常陸大宮 Hitachiomiya

vol.2

